令和８年度第１回林野庁入札等監視委員会　審議概要

開催日及び場所			令和8年6月17日（水曜日）林野庁入札室	
委員			井上 大輔（公認会計士、税理士）　　鈴 木　健 二（弁護士） 辻 潔（ジャーナリスト）	
審議対象期間			令和7年10月1日～令和8年3月31日	
審議対象案件			22件	うち、1者応札案件　11件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 － 件
抽出案件			6件 （抽出率　27%）	うち、1者応札案件　4件 （抽出率　36%） 契約の相手方が公益社団法人等の案件 － 件 （抽出率　－　%）
抽出案件内訳	工事	一般競争	1 件	うち、1者応札案件 － 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 － 件
		指名競争：公募型指名競争	－ 件	うち、1者応札案件 － 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 － 件
		指名競争：工事希望型競争	－ 件	うち、1者応札案件 － 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 － 件
		指名競争：その他の指名競争	－ 件	うち、1者応札案件 － 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 － 件
		随意契約	－ 件	うち、1者応札案件 － 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 － 件
	業務	一般競争	－ 件	うち、1者応札案件 － 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 － 件
		指名競争：公募型競争	－ 件	うち、1者応札案件 － 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 － 件
		指名競争：簡易公募型競争	－ 件	うち、1者応札案件 － 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 － 件
		指名競争：その他の指名競争	－ 件	うち、1者応札案件 － 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 － 件
		随意契約：公募型プロポーザル	－ 件	うち、1者応札案件 － 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 － 件
		随意契約：簡易公募型プロポーザル	－ 件	うち、1者応札案件 － 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 － 件
		随意契約：標準型プロポーザル	－ 件	うち、1者応札案件 － 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 － 件
		随意契約：その他の随意契約	－ 件	うち、1者応札案件 － 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 － 件
	物品・役務等	一般競争	4件	うち、1者応札案件　3件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 － 件
		指名競争	－ 件	うち、1者応札案件 － 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 － 件
		随意契約（企画競争・公募）	1件	うち、1者応札案件　1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 － 件
		随意契約（その他）	－ 件	うち、1者応札案件 － 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 － 件
	（特記事項） ・抽出の6件については、落札率の高かった契約等を抽出した。			

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	（詳細に記述すること。） （別紙のとおり）	（詳細に記述すること。） （別紙のとおり）
委員会による意見の具申又は勧告の内容	該当なし	
［これらに対し部局長が講じた措置］		

事務局：林野庁林政部林政課会計経理第1班

(注)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。）をいう。

	意見・質問	回　　答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	抽出契約について 〔抽出番号１：令和７年度林野庁東営宿舎 1 号棟専有部給排水設備改修工事（第２期）〕	
	・令和５年度に第１期目をやって、令和７年度に第２期目を実施しているということで、よろしいですか。その間の令和６年度に第２期を実施せず、令和７年度になったのは、どういう理由があるのでしょうか。	・宿舎の修繕予算は、林野庁の本庁だけではなく、全国の森林管理局署が持っている宿舎の修繕も行わなければならない予算となっており、限られた予算の中で、順番に実施していく関係で、令和６年度は見送り、令和７年度に２期目を実施することとしました。
	・最初は参加業者が３者いて、１者については、同種工事の施工実績が確認できないために、参加されなかったという説明があったと思いますが、同種実績がないというのは、業者さん側から申し出があったということでしょうか。	・同種工事の実績を有することを競争参加資格条件としておりますが、申請書類を確認したところ、同種工事とは言い難い内容であったため、業者さんの方にその旨を説明し、納得をいただいたということです。
	・令和７年度の１回目の委員会で、この４号棟の工事を審議した記憶があり、その時も、この２者だけだったような記憶があるが、やはりこの業者さんたちが応札することが比較的多いということですか。	・令和６年度の修繕工事に関しては、この２者以外の業者が落札していますが、凡そこの２者が落札することが多いというのが実情です。
	〔抽出番号２：令和７年度林野庁式典会場設営及び整備清掃作業〕	
	・毎年やられる式典なのですか。	・毎年行っている式典です。
	・この式典のこの委託業者というのは毎年同じところになりますか。	・過去、同じ業者だったのですが、令和7年度は違う業者が落札しています。
	・落札率は比較的高めな入札ではありますが、過去の実績等があるので、業者さんとしてもそれを参考にしながらとなると、比較的高めになってしま	・過去の実績等があるので、ある程度相場を推測できるのかなという気はします。

	うのかなっていうところですか。	
	・場所柄、やはり１者入札というのは避けられないものですか。	・昨年度は入札説明書をダウンロードした業者が 10 者程度ありましたが、結果的に入札に参加したのは１者でした。
	〔抽出番号３：森林管理局署等職員に供用する制服等の調達〕	
	・３者参加されていますが、この入札の参加資格について制限があったのでしょうか。	・参加資格は令和７・８・９年度農林水産省競争参加者（全省庁統一資格）「物品の製造」の「A」、「B」、「C」又は「D」であり、全ての等級の者が参加できることになっています。
	・制服の貸与期間は概ね３年とか２年、長ければ３年ぐらいとなっており、毎年その３分の１程度を発注しているということですか。それとも３年に１回、一度に発注するような感じですか。	・毎年、入札しています。 人によって本庁から局に行く時期が違ったりするため、３年に一度といっても人によってずれが生じることから、その年その年に必要な量を各森林管理局に聞きとって、毎年調達をしているところです。
	・毎年発注しているから、応札者が固定されてくるのという傾向については否めないけれども、入札でやっている以上は、競争性というのはどこかで担保されないといけないわけで、そういうことが働くのかどうかというところが問題ではないかと思いました。	・過去の記録を見ると、令和３年度などは全く違う会社であり、その当時は、今の会社などは参入していないことになっています。
	・落札金額が各社の入札金額と近く、かつ、落札の率も 100%に近いような形になっていて、適切な競争性が働いているのかなというのが、この数字だけ見ると、少し思ってしまうところがあります。 　こちらは予定価格を類推するとか、推察するようなことが、比較的容易にできるような組み立て方になっているのでしょうか。物自体は制服なの	・この案件については、予定価格は非公表にしております。 このように毎年入札を実施する案件で予定価格を公表してしまうと、予定価格が類推されて競争性が働かなくなる恐れがあるため、非公表という形にしています。

	で、毎年同じものというところで、入札を繰り返していくうちに、近づいてくるのかなとは思いますが、過去の実績とか、予定価格は終わった後に公表されるのですか。	
	〔抽出番号４：令和７年度流域山地災害等対策調査（保安林適正管理手法に関する実証調査）委託事業〕	
	・この事業の調査は、新しい衛星画像の調達手法の前段階の実証をやったということですか。 　その次の調達手法と、今やっている調達手法によるものとの連続性というのは、どういう風に生かせるかとか、その辺はどうなっているのですか。今あるデータを次に生かすとか。	・そのとおりです。 　今回新しく取得する衛星画像が、今まで取得してきた衛星画像と比較できないことになると意味がないことになるため、ちゃんと変化抽出ができるかというところも確認しながら行いました。 　今後は、実証結果を踏まえ、この手法により撮影した衛星画像を調達し、監視業務に活用してもらうことを考えています。
	・落札率が 99.7%であり、ほぼ 100%になっていますが、そうなった理由というのは何が考えられますか。	・積算に当たっては、予算額を踏まえて資料招請を行っており、資料招請で提出があったのも、この受託者１者のみからだったことが要因として大きいと思われます。
	・おそらくこの衛星画像代もそんなに価格の動きがなく、積算上、人件費ぐらいしか動く余地がほぼないということなのだと思いますが、仕様書上、衛星画像の仕様については何か決めているものはありますか。	・仕様書に取得・作成する画像データの仕様を定めています。また、業務内容の中で、使用する光学衛星の空間分解能なども定めています。
	〔抽出番号５：令和７年度次期国有林野情報管理システム設計・構築及びクラウドサービス提供業務〕	
	・この国有林で使っているシステムというのは、この業者さんが最初に開発されたものですか。	・別の業者が開発したものです。 　運用も開発した業者が行っておりましたが、令和５年の入札には、

	この 20 年間の間に、どこかで切り替えられたということですか。	その業者が応札せず、現在の事業者が選定された経緯があります。
	・資料を見ると、ほぼ今回の業者さんがずっと取っており、たまに他の業者さんというのが５年に入って、あとは６年度の業者さんが入っていますが、６年度の業者さんは入札もしてくれなかったのですか。	・応札がありませんでした。１者応札ということで、６年度の改修を担当した業者を含めて、数社にヒアリングしたところ、システムの規模が大きいにもかかわらず、単年で完成を求められることにリスクがあるといった理由が示されました。
	・業者としては、やはり複数年でやりたいというニーズがありながら、そうはなっていないから、１者応札が続いているという現状もあるのではないかと思います。複数年というのは、具体的にどう難しいのですか。	・国の予算なので、単年度主義が前提となっています。国庫債務負担行為が認められれば、複数年での契約は可能ですが、システム関係予算は、デジタル庁が取りまとめて要求する形になっており、全省庁の中での優先順位もあると思います。
	〔抽出番号６：令和７年度林業木材産業国際競争力強化総合対策のうち、木材需要の創出輸出力の強化のうち、改正クリーンウッド法施工状況把握調査〕	
	・随意契約にこだわる必要があるのかを聞きたい。確かに専門的な知見が必要ですが、専門的な知見というのは、この業者さん以外にもあると思うのですが。 データ分析に関して言うと、もっとデータ分析に特化したところもあると思います。 そういう意味ではもっと競争原理を働かせて、この事業を進めた方がいいのではないかと思うわけで、いかがでしょうか。	・木材業界の実態やクリーンウッド法の前提知識がないと、アンケートを作るのも大変と考えます。 また、アンケート調査を実施することや単純に集計することはできると思いますが、他方で、業界の実態やクリーンウッドの法律の中身までかなり詳しくわからないと、正確な分析は難しいのではないかと考えます。

	・なかなか他に事業者が入ってくるというのも難しそうな感じですか。 **その他** ・委員会としての意見はなし。	・いわゆる一般的なアンケート調査という形であれば、得意な事業者はいると考えますが、そうした事業者と専門性をもった事業者がJVを組んでやっていただくのも一つの手であると考えます。 　事業の設定時に、一般的なアンケート調査として一般競争入札で実施することも考えうると考えますが、先の質問で回答したとおり、業界の実態やクリーンウッド法の知識がないと事業の実施は困難でないかと考えます。

令和８年度　第１回林野庁入札等監視委員会
審　　議　　資　　料

資料１　令和７年度第３・第４四半期の契約締結状況について

・契約担当部署別・契約方式別契約一覧（総括表）

資料２　抽出契約について

（１）抽出契約の一覧表

（２）抽出契約に係る個別説明資料

工事関係

・抽出１「令和７年度林野庁東営宿舎１号棟専有部給排水設備改修工事（第２期）」

物品役務関係

・抽出２「令和７年度林野庁式典会場設営及び整備清掃作業」

・抽出３「一般作業衣（ジャンパー型上衣3着）ほか5品目の製造」

・抽出４「令和７年度流域山地災害等対策調査（保安林適正管理手法に関する実証調査）委託事業」

・抽出５「令和７年度次期国有林野情報管理システム設計・構築及びクラウドサービス提供業務」

・抽出６「令和７年度林業・木材産業国際協力強化総合対策
のうち木材需要の創出・輸出力の強化のうち改正
クリーンウッド法施行状況把握調査」

資料１

令和７年度第３・第４四半期の契約締結状況について

契約担当部署別・契約方式別契約一覧（総括表）

（対象：令和７年度第３・第４四半期分）

（単位：件、円）

契約担当部署＼契約方式		工事関係		物品・役務等関係		合　計	
		一般競争/指名競争	随意契約	一般競争/指名競争	随意契約	一般競争/指名競争	随意契約
林野庁本庁	件数	1		16	5	17	5
	金額	39,565,405		635,835,026	88,438,988	675,400,431	88,438,988
一般会計	件数	1		16	5	17	5
	金額	39,565,405		635,835,026	88,438,988	675,400,431	88,438,988
東日本大震災復興特別会計	件数						
	金額						
	件数						
	金額						
森林技術総合研修所（一般会計）	件数						
	金額						
合　計	件数	1		16	5	17	5
	金額	39,565,405		635,835,026	88,438,988	675,400,431	88,438,988

注　少額随意契約は含まない。

資料２

抽　出　契　約　に　つ　い　て

抽　出　契　約　の　一　覧　表（令和７年度第３・第４四半期分）

（一般競争契約）　　（企画競争：随意契約）

抽出番号	1	2	3	4	5	6
契約担当部署	管理課 （一般会計）	管理課 （一般会計）	管理課 （一般会計）	治山課 （一般会計）	経営企画課 （一般会計）	木材利用課 （一般会計）
契約名	令和7年度林野庁東営宿舎1号棟専有部給排水設備改修工事（第2期）	令和7年度林野庁式典会場設営及び整備清掃作業	一般作業衣（ジャンパー型上衣３着）ほか５品目の製造	令和7年度流域山地災害等対策調査（保安林適正管理手法に関する実証調査）委託事業	令和7年度次期国有林野情報管理システム設 計・構築及びクラウドサービス提供業務	令和7年度林業・木材産業国際協力強化総合対策のうち木材需要の創出・輸出力の強化のうち改正クリーンウッド法施行状況把握調査
契約内容の概要	築後約50年が経過し、給排水設備の老朽化が著しく、腐食による配管のつまり及び漏水が発生していることから、その解消のため以下の宿舎改修工事を実施。 １　住戸内給水、給湯、排水改修工事 ２　洗面室の床、壁の改修工事 ３　便所の壁の改修工事 ４　浴室の改修工事	林野行政の業務遂中に、不幸にして殉職された方々を偲び、ご冥福を祈るとともに職場の安全確保に向け決意を新たにすることを目的として実施する式典の会場設営等。	定員外常勤職員に供用する ・一般作業衣（ジャンパー型上衣）3着 ・一般作業衣（ズボン）22着 職員に貸与する ・制服（男性用ジャンパー型上衣）803着 ・制服（男性用ズボン）1,983着 ・制服（女性用ジャンパー型上衣）169着 ・制服（女性用ズボン）352着 の調達を行う。	衛星画像を活用した保安林の管理に関して、高解像度光学衛星と小型衛星を併用した衛星画像の取得の実証等を実施。 １　高解像度光学衛星と小型光学衛星を併用した撮影計画の立案 ２　衛星画像データの取得及びオルソ画像の作成 ３　変化抽出の検証 ４　後継手法に関する課題の整理	国有林野事業に係る予定・実行管理、統計作成、森林情報のデータ処理を実施するにあたり、林野庁職員及び指定調査機関が当システムの利用を前提としている。森林整備の推進による国有林における木材供給や造林業務の増加が見込まれることや、システム構築時から相当の年数が経過し、業務内容や業務の遂行状況が大きく変化している。また、システム構築当時の業務要件との齟齬が出ており、業務に係る作業の負担が増加していることから当システムの再構築を行う。	改正クリーンウッド法の施行状況を把握し、木材関連事業者等における制度理解や取組状況、課題等を調査・分析し、結果をとりまとめる事業を実施。具体的には以下のとおり。 １　アンケート調査の実施（素材生産販売事業者、木材関連事業者等） ２　ヒアリング調査の実施（サプライチェーン構成事業者への聞き取り） ３　制度浸透状況、理解度、取組状況及び課題の分析 ４　優良事例の収集及び事業成果の取りまとめ（報告書作成）
契約相手先	大洋建設株式会社	株式会社庚	株式会社トーホーユニ	株式会社NTTデータ	富士ソフト株式会社	一般社団法人全国木材組合連合会
予定価格	40,768,405	－	－	15,004,000	－	19,999,311
契約金額	39,565,405	2,698,300	28,189,381	14,960,000	500,500,000	19,999,000
落札率	97.0%	－	－	99.7%	－	99.9%
契約方式	一般競争契約 （簡易型総合評価）	一般競争契約	一般競争契約	一般競争契約 （総合評価）	一般競争契約 （総合評価）	随意契約 （企画競争）
応募者等の数	2	1	3	1	1	1
契約年月日	令和7年10月17日	令和7年10月1日	令和7年11月28日	令和7年11月11日	令和8年3月24日	令和8年3月25日
履行期限	令和8年2月27日	令和7年11月6日	令和8年3月6日	令和8年1月30日	令和9年3月31日	令和9年3月12日
再就職の役員の数	－	－	－	－	－	５名 （常勤４名＋非常勤１名）
備　　考			※変更契約により最終契約金額 28,189,378円に変更		（繰越）	（繰越）